



▲紙すきを体験する来場者



▲出店者が自宅で不要となった衣類や雑貨などを持ち寄り販売したフリーマーケット会場

地球に優しい暮らしを目指して

2020年登別市市制施行50周年記念

7/7

リサイクルまつり'19イン登別・白老

7月7日(日)、クリンクルセンターで、『リサイクルまつり'19イン登別・白老』（登別市、白老町主催）を開催しました。

この催しは、廃棄物を減らし、リサイクルによる循環型社会への意識を高めることを目的として、毎年行っています。

環境に優しい運転について学ぶ『エコドライブシミュレーター体験』や生ごみから作られた『たい肥』がもらえるスタンプラリー、ごみの分別クイズ、フリーマーケットなどに加え、今回初めて実施された登別市環境保全市民会議・日本工学院北海道専門学校（通称）の学生による『発電キット紹介コーナー』など、さまざまなイベントが行われた。今年は、天候に恵まれ、昨年よりも多い約2千人が来場しました。

来場者は、展示や体験型の催しを通して、環境や循環型社会について楽しみながら知識を深めていました。

さまざまな情報がつまった1冊
『市民便利帳』と『登別市版防災・防犯タウンページ』の贈呈式
7月18日(木)、市役所で『のほりべつ市民便利帳』・電話帳『タウンページ登別市版』との合冊版と別冊『登別市版防災・防犯タウンページ』の贈呈式（市・NTTタウンページ(株)主催）を開催しました。

市民便利帳と電話帳の合冊版は、市とNTTタウンページ(株)が平成24年から共同制作し、市内に全戸配布しているほか、市へ転入してきた方へも配布しています。手続き方法や問い合わせ先などの情報を子育てや引越しなどのテーマごとにまとめているので、ぜひ活用してください。※関連記事15ページ。

7/18



▲ステージでバトンを披露する子どもたち

多彩なプログラムであふれる笑顔
わくわく広場のほりべつNO.09

7/6・7

7月6日(土)・7日(日)の2日間、登別ビーチパークで『わくわく広場のほりべつ2019』（同実行委員会主催）が開催されました。

夜はニクス城の前（マリナーパークニクス内）で、2020年の民族共生象徴空間（ウポポイ）開設を記念した『アイヌ民族古式舞踊』や毎年恒例となっている『地獄の谷の鬼火』が行われるなど、多彩なプログラムで盛り上がったイベント。たくさんの来場者が盛り上がった会場には、露店で買った物を手にステージイベントを観覧したり、子ども遊び広場やスパスライダーなどで楽しむ人たちの笑顔があふれました。



▲市民便利帳を贈呈するNTTタウンページ(株)ソリューション営業部・下田北海道営業支店長